

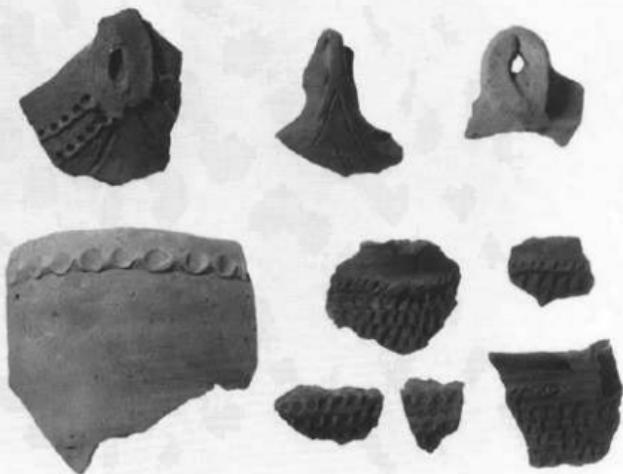
遺構外出土土器



遺構外出土土器



遺構外出土土器



遺構外出土土器



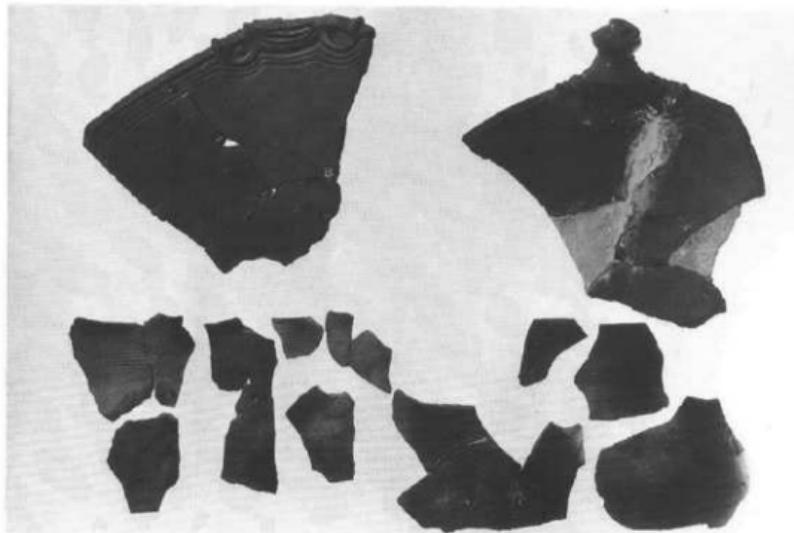
遺構外出土土器



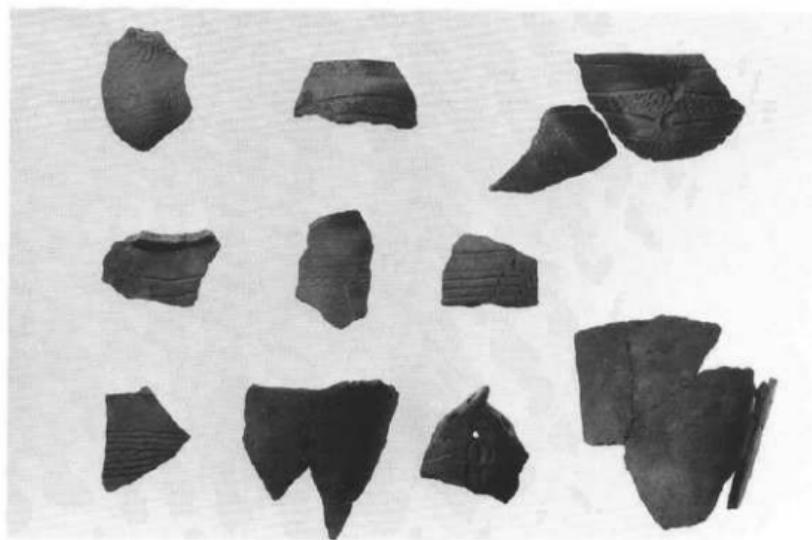
遺構外出土土器



造構外出土土器



遺構外出土土器



遺構外出土土器



S B - 13 出土匙形土製品

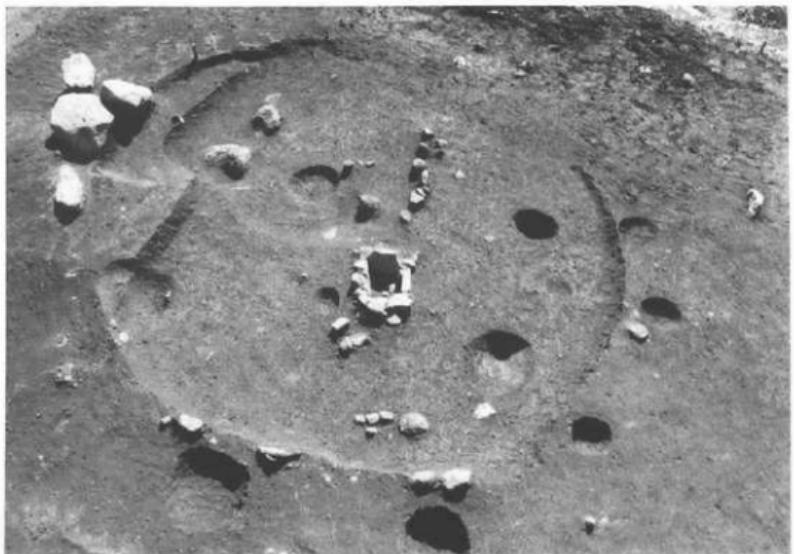
遺構外出土土器



S B - 01



S B - 01 石囲い炉



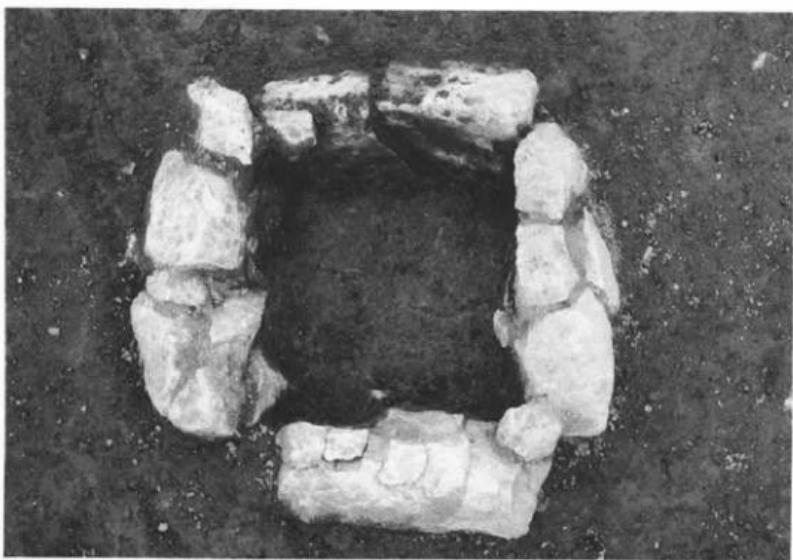
S B - 02



S B - 02 石圓い炉



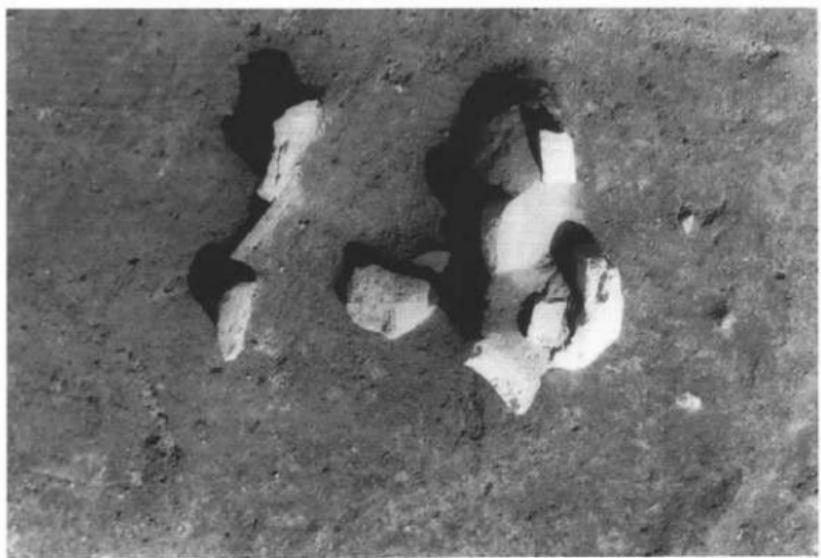
S B - 03



S B - 03 石囲い炉



S B - 04



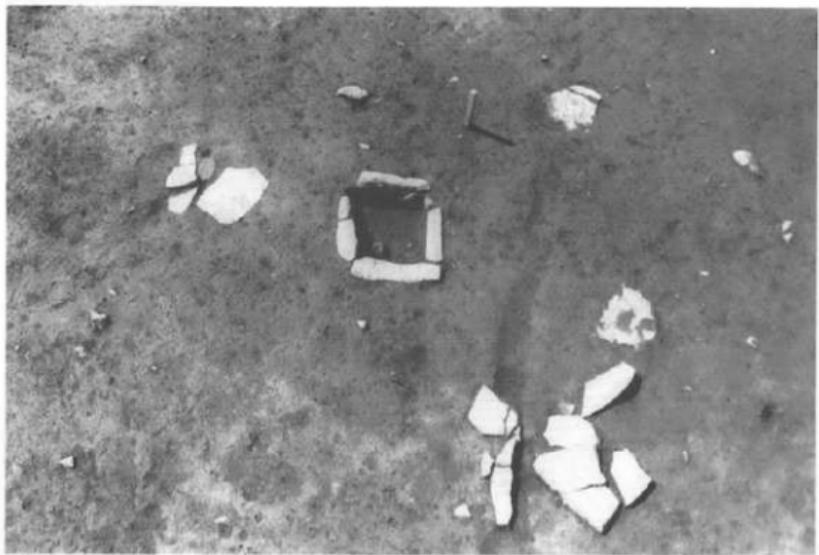
S B - 04 カマド



S B - 05



S B - 05 カマド



S B - 06



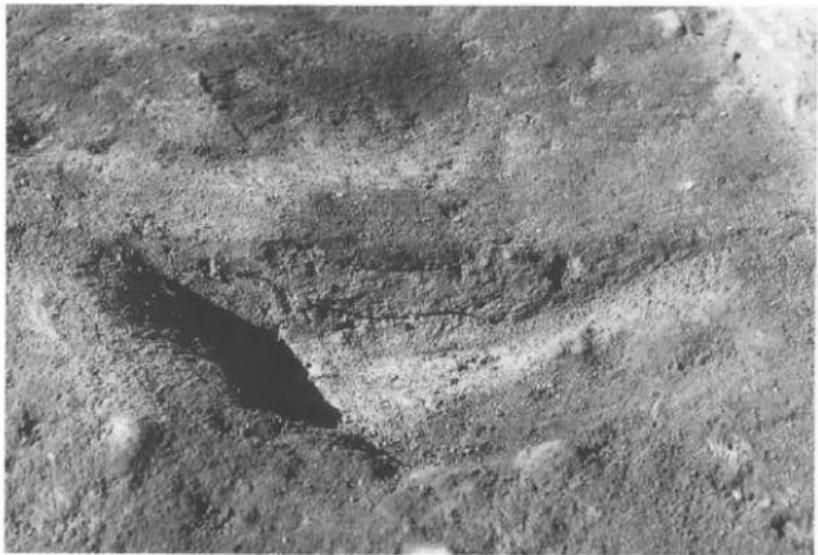
S B - 07



S B -08



S B -09



S B - 09 地床炉



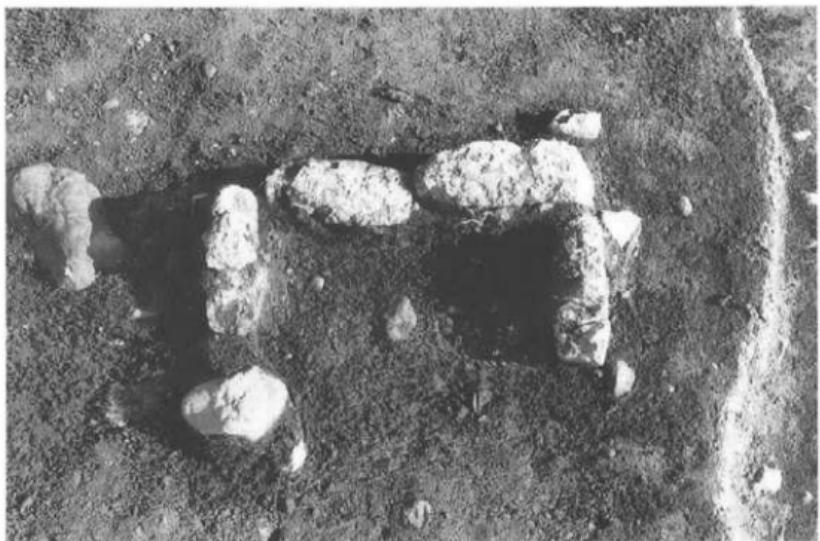
S B - 10



SB-10 カマド



SB-11



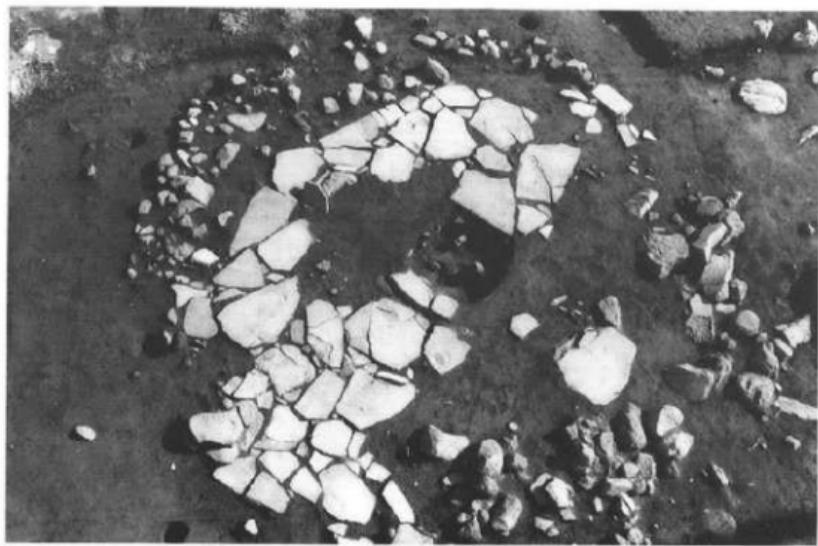
SB-11 石囲い炉



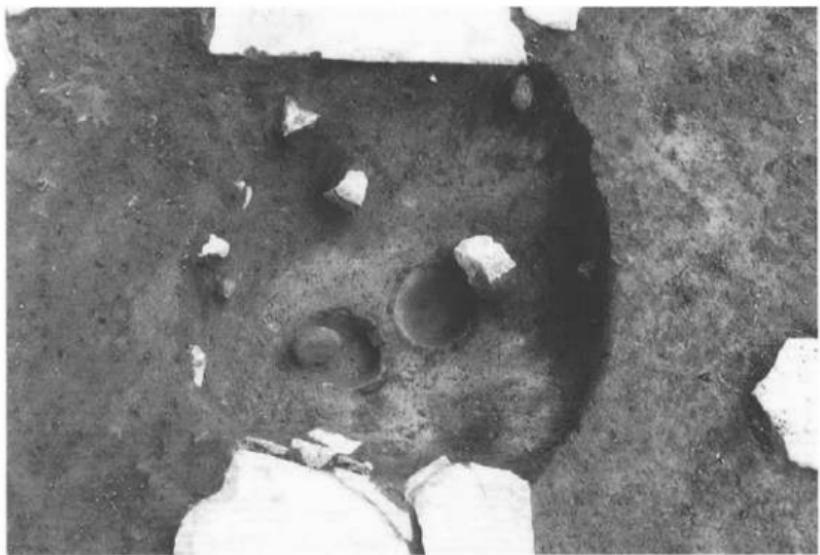
SB-12



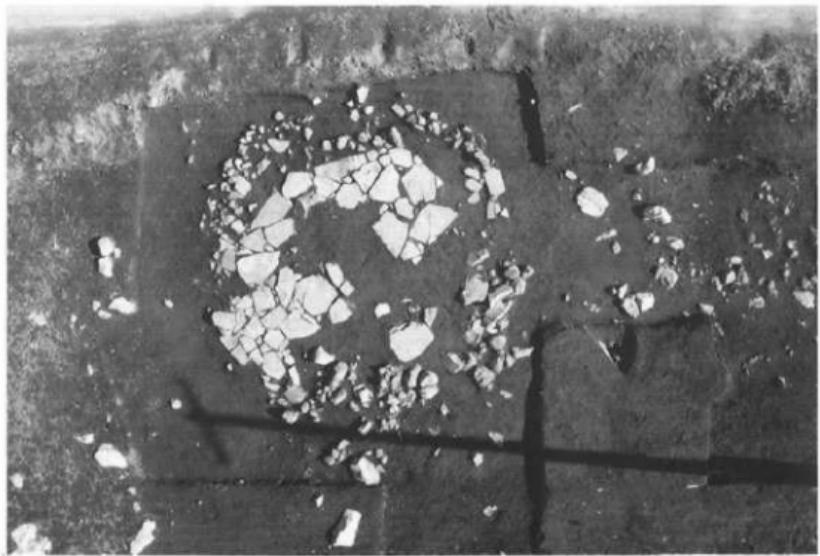
S B-12 石囲い炉



S B-13



S B - 13 炉



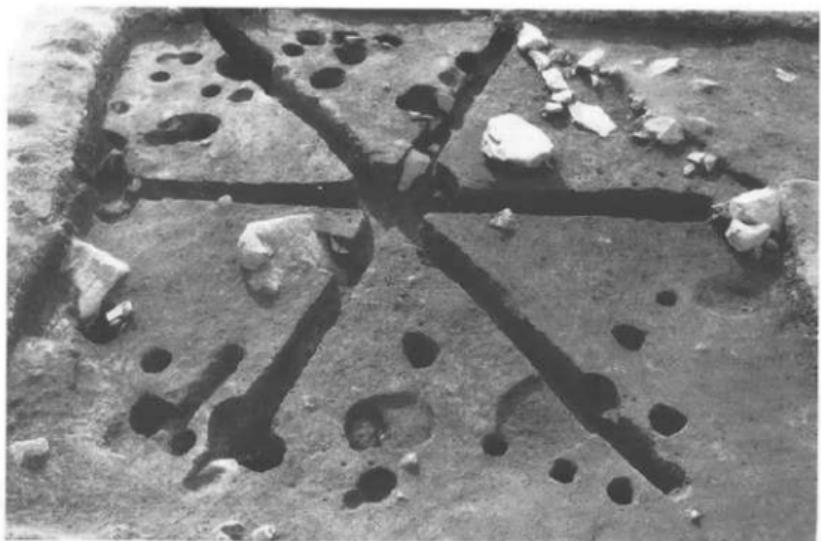
S B - 13



S B - 13 周辺



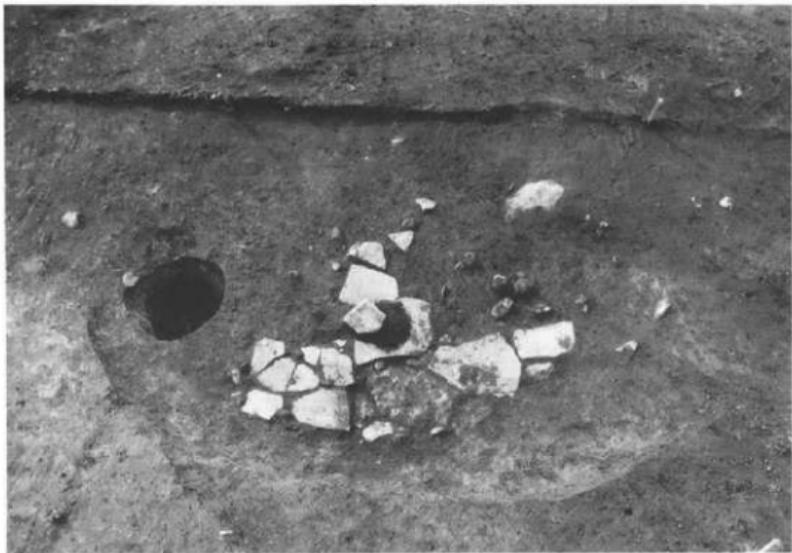
S B - 13 烧骨出土状況



S B - 13 サブトレンチ完掘



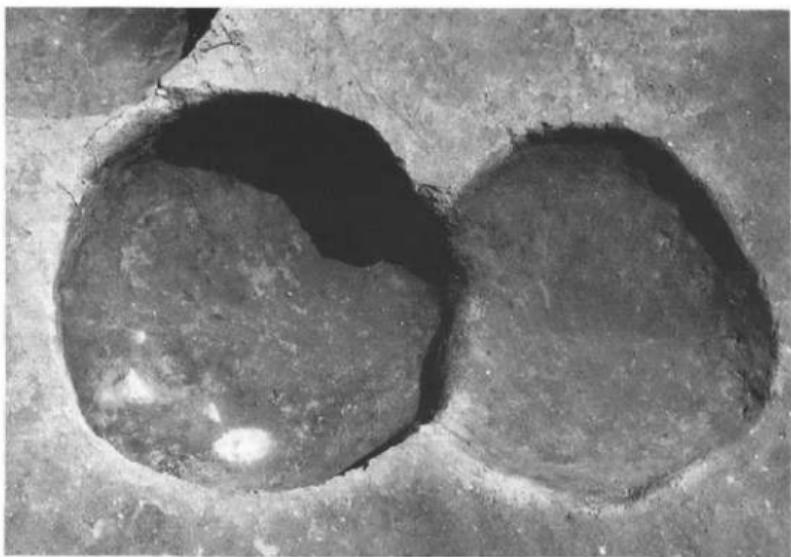
D地点 SX - 01



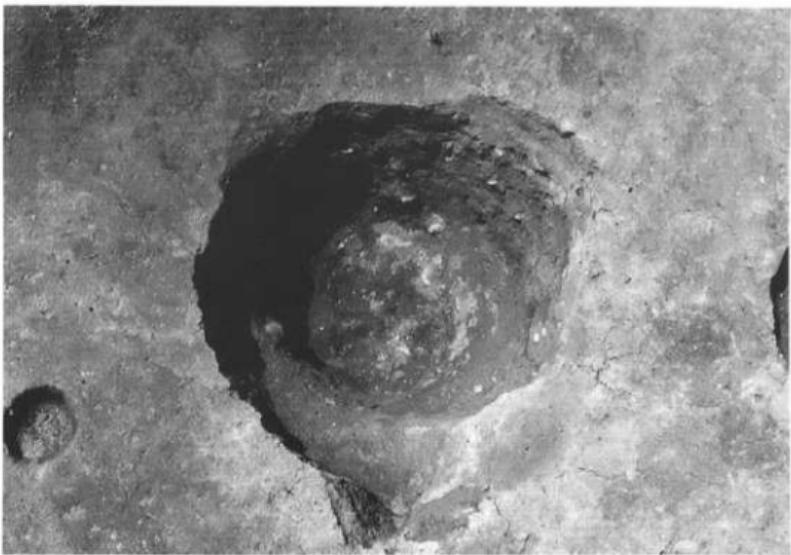
S B - 14



S B - 15



B地点 SK-06・07



B地点 SK-08



B地点 SK-18



B地点 SK-27



B地点 SK-29



B地点 SK-33・34



SX-01



SX-03



S X - 03 伏鉢出土状況



S X - 03 伏鉢出土状況



S X - 04



S X - 05



S X - 06



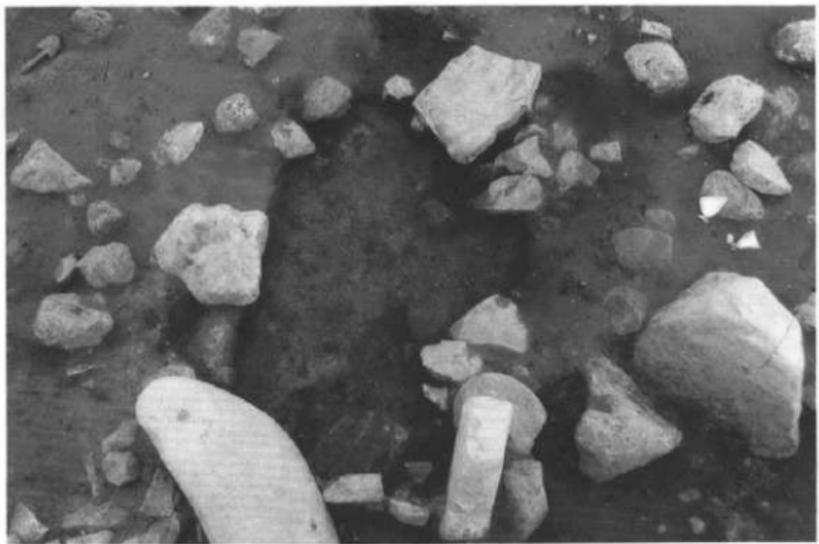
S X - 07



S X -08



S X -08 伏鉢出土状況



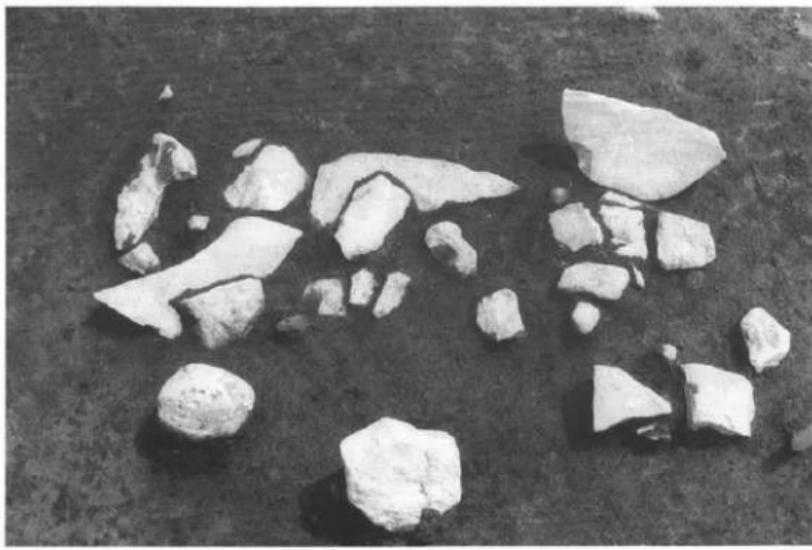
S X - 09



S X - 10



S X - 11



S X - 12



S X - 13



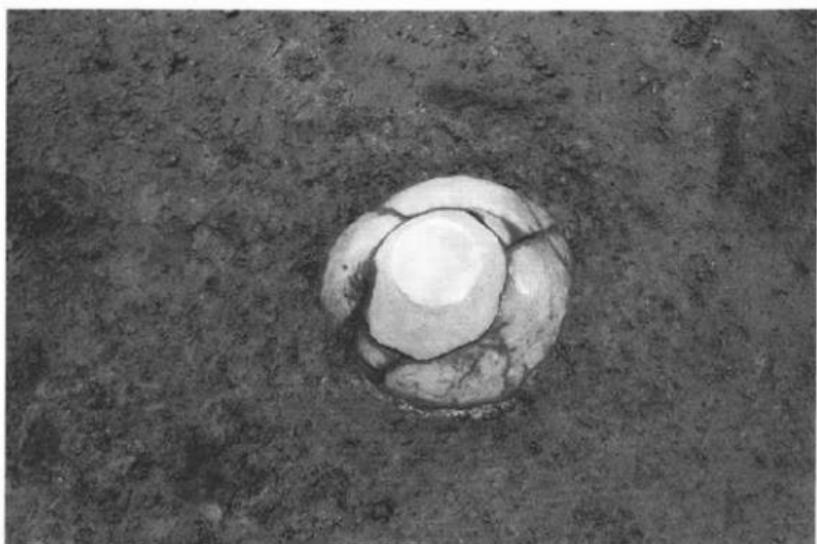
S X - 15



A地点 埋壺-1



A地点 伏壺-1



A地点 伏壺-2



B地点 埋壺-2



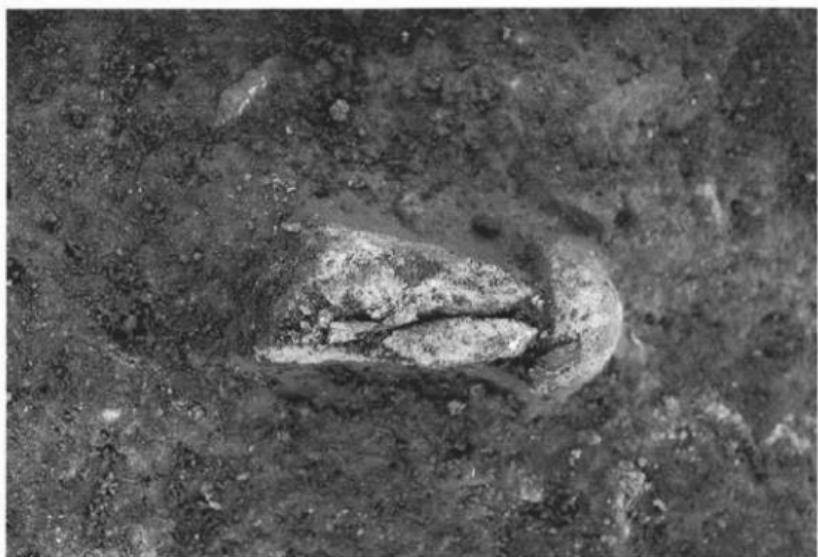
土器出土状況 (T-21 Grid)



土製品出土状況 (S B-13)



石棒出土状況（S B - 08）



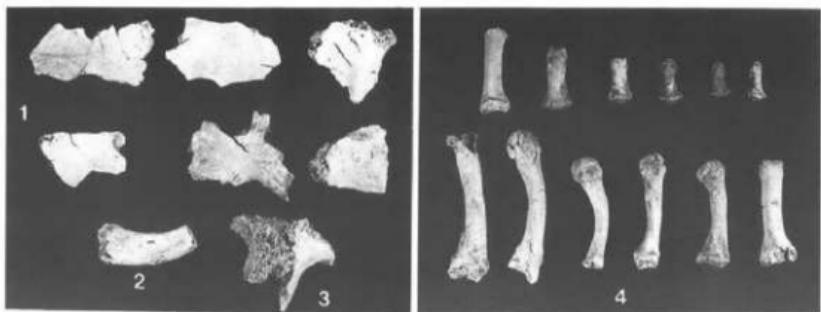
石棒出土状況



石棒出土状況



石鉢出土状況



辻田遺跡出土人骨

1 : 頭蓋骨 2 : 鎮骨 3 : 寛骨 4 : 手骨・足骨 5・6・7・8 : 上腕骨

9・10 : 桡骨 11・12 : 尺骨 13・14 : 大腿骨

## 報告書抄録

ふりがな	つじたいせき
書名	辻田遺跡
副書名	緊急発掘報告書
編著者名	塩入秀敏・坂井美嗣
編集機関	長野県東部町教育委員会
所在地	〒389-05 長野県小県郡東部町281-2 TEL 0268-62-1111 FAX 0268-63-5431
発行年月日	西暦1995年3月24日

ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村 遺跡番号					
辻田遺跡	長野県 小県 郡東部町大字 和字辻田	37	36度 23分 28秒	138度 20分 32秒	1992.08.19～ 1993.12.04	9.000	圃場整備事業 に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
辻田遺跡	集落址	縄文  弥生 平安	敷石住居8軒 配石墓 9基 土 壤 70基  竪穴住居1軒 竪穴住居4軒	縄文土器 石鐵・石匙 打製石斧 磨製石斧 石皿・凹石 石 棒 弥生土器 土師器 須恵器 近世陶磁器	縄文時代後期前 葉の集落址

## お わ り に

私をインディーと呼ばないでください。私には秘宝を手にすることも、金髪の美女とのラブロマンスもない。ただ汗と土にまみれて、遺物と遺構に取り組むだけだ。私は所謂おたくに属する人種かも知れない。しかし、流石に縄文土器に頬擦りするようなことはない。(極希にそんな遺物が出土することもないではないが)、いやそれを超越してしまっているのかもしれない。とは言うものの、こう報告書づけになると、寝ても覚めてもそればかりで、どこを切っても報告書という金太郎飴状態に陥る、こんな状態では身体によいはずがない。嗚呼、あの頭痛と嘔吐がまたやって来る。新たな趣味を持たねば、書道だ、硯はやはり端渕、それも老坑水巖、大西洞、歓州硯も良い。墨は奈良の……。やはり篆刻を極めよう、田黄か鶴血を刻してみたい……。それとも写真だ、カメラはM 6、レンズはエルマリート28ミリF2.8とズミクロン35ミリF2が欲しい……。こんなことしていたら、いくら金があっても足りない。何事も道具立てを重んずる私は、自分の能力を切磋琢磨するよりも、道具に金をつぎ込んでしまうのだから、もうこうなっては趣味でもなんでもない……。こんなわざとを平気で文章にするほど私の頭は参っている。しかし、もうそれも終わりだ、これで報告書は脱稿。しばらく報告書は夢に出て来ないだろう。今夜はウチャーンの夢でも見よう。作業員の皆さん、スタッフの皆さんご苦労様、真夏の暑い時期から初冬の寒い時期までありがとうございました。

(突貫)

### 印刷の仕様

- ◎判型 B5版 ◎頁数 324頁 ◎版組 電子組版
- ◎製版 カラー写真200線 モノクロ写真175線
- ◎用紙 表紙 ミラーコート 135kg 本文 色上質クリーム厚口  
写真図版 アート 110kg
- ◎製本 左無線綴じ ◎表紙写真 SB-13

